ほ　づ　み

郡山市立穂積小学校
学 校 便 り　No.４５
令和４年３月１４日
文責：校長 中澤修一

あれから１１年・・・。

３月１１日（金）の朝に、私はＺｏｏｍを使って、次のような話をしました。

今から１１年前の今日、平成２３年３月１１日午後２時４６分、東北地方太平洋沖で、日本の観測史上最大の巨大地震が発生しました。
「東日本大震災」と言われるものです。
この大地震は、大きな津波をもたらし、多くの尊い命が奪われました。
被害にあった地域では、大切な家族や友達を失ったり、思い出のいっぱいつまった家や学校をなくしたりした方々がたくさんいました。
ここで、ちょっとだけ写真を見てください。
（スライドを映す）
写真を見ただけでも、ものすごく大きな地震だったということがわかりますね。
福島県は、この地震による被害だけでなく、原子力発電所の事故による被害も加わったので、本当に大変でした。
原子力発電所の近くに住む人は、自分の家には住むことができなくなり、他の県へ避難しなければならなくなりました。
「福島県でとれた魚や作物は食べてはだめだ」という風評被害にも苦しめられました。
しかし、福島県の人たちは、そのような中でも、お互いに助け合い、「もとの福島県に戻すんだ」とみんなでがんばってきました。
それにより、今では、地震が起きる前よりも素晴らしい環境が整いつつあります。
そして、福島県の人たちは、「人との絆」という大きな宝を得ることができました。
今、新型コロナウイルス感染症により、世の中が少し不安定な状態になっています。
しかし、私たち福島県の人たちには、東日本大震災の経験を通して得た大きな宝があります。
今は苦しい時かもしれませんが、みんなで助け合い、励まし合っていくことで、明るい未来が見えてくると思います。
これからも、みんなでがんばっていきましょう。

「東日本大震災」からの教訓は、これからも忘れないようにしていきたいと思います。

新しい班長を中心とした登下校

３月２日（水）に「**校外子ども会**」が行われ、新１年生を含めた令和４年度の**新しい登校班が編成**されました。

また、６年生が班長をしていた登校班は、新しい班長へ**引き継ぎ**が行われました。

３月３日（木）以降は、６年生から**新しい班長が中心**となって登下校を行っています。

第２回学校評議員会

３月９日（水）に「**第２回学校評議員会**」を行い、**令和３年度の学校運営の反省**や**令和４年度の教育活動**について話し合いました。